

(様式1)

### 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 農業振興課
<b>要望問題名</b> 受委託組織の育成指標について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 水稲や茶を中心に、高齢化や担い手不足が顕著である。今後、生産の維持・拡大を図るためには、受委託組織の育成が必須となることから、各産地の労働力実態及び受委託組織の成立要件を明らかにするとともに、今後の受委託組織の育成に向けた指標の策定をお願いしたい。  水稲栽培面積(H24) 3,210ha 茶栽培面積(H21)273ha、うち摘採面積189ha	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 共同利用施設の利用実態の把握と将来方向の分析(平成25～27年)		
対応の内容等	施設機械の老朽化、施設運営の担い手の高齢化と後継者不足及び作付面積減少等の影響によって、共同利用施設の運営が困難になっています。そこで、県下の主な共同利用施設について、現地実態調査と分析を行い継続的運営に対する方策や地域における将来方向について検討を行うという視点で、本年度からは荒茶工場を対象とした調査をはじめとしています。また、来年度から水稲の共同利用施設の経営調査を実施する予定です。御要望いただいた内容についても、本研究の中でお応えできると考えています。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備 考			